

岩本保育園

2025 あき

園目標【好きな遊びを見つけ 夢中になって遊ぶ子】



『靴とり〜集団あそび〜』
ルールのある遊びは仲間がいるからこそおもしろいものです。年長児と年中児が混ざって遊ぶ中で、遊びの伝承がされ、社会性の育ちにもつながります。またやろう！と好きな遊びは毎日続くこともあります。

傾斜のついた雨どいにて、森で拾ったどんぐりを転がすのは0歳児です。森の中で、五感を働かせて遊びこむ経験を重ねています。



春先は年中児が繰り返し挑戦していたロープわたりですが、秋になり身のこなしが上手になった年少児が、今は夢中です。

落ち葉マットの上で腕試しターザンロープ



焼きマシュマロ



『どんぐり』『落ち葉』『草花』などの自然物を遊びの中で使っています。



森の恵み
実りの秋



『ゴミ出前講座』
市の担当職員の方から、リサイクルできることと分別することを教えてもらいました。

戸外でも室内でも好きな遊びがにつながるように、こどもの姿から環境を工夫しています。



本物のさんま焼きを見て始まった2歳児のさんま焼きごっこ

色々な人との
つながり



『袋1枚でバッククッキング〜防災食〜』
電気が使えない時に食べるものを作るにはこんなやり方もある事を経験しているのは年長児です。



『おはなしの会』のボランティアの方が、園にきてくれます。わらべうた遊びでは、日本ならではの音の響きや言葉あそびを通じて友だちとのふれあい遊びを楽しみました。



「ヴァイオリンみたい」と素材の形にイメージを広げ、作り始めました。周囲の友だちも影響を受け、できた楽器でコンサートごっこが始まりました。

